


中部ゴルフ連盟
[HOME](#)

競技情報

[中部アマチュア](#)
[中部ミッドアマチュア](#)
[中部女子アマチュア](#)
[中部シニア](#)
[中部オープン](#)
[中部グランドシニア](#)
[中部ミッドシニア](#)
[中部女子シニア/
中部女子グランドシニア](#)
[中部インタークラブ](#)
[佐々部杯](#)
[中部アンダーハンディ
キャップ](#)
[中部小学生](#)
[中部ジュニア](#)
[中部学生](#)
[中部シニアオープン](#)

過去の競技

[2019年](#)
[2018年](#)
[2017年](#)
[2016年](#)
[2015年](#)

佐々部杯 成績表 1R、組合せ表 2R、記事 掲載

平成30年度（第40回）佐々部杯ゴルフ選手権競技

開催日／平成30年11月21（水）、22日（木）

会場／南山カントリークラブ

参加人数／145名（内欠場4名）

距離／7034ヤード PAR72

天候／第1日 晴れ

[第1日 成績表 \(PDF\)](#)

[第2日 組み合わせ並びにスタート時刻表 \(PDF\)](#)

高校3年の土肥龍星選手（フクイCC）と大学1年の織田信亮選手（杉ノ木台GC）が 1オーバー73で首位発進。

85ストロークまでの102人が明日の決勝ラウンドに進出。

CGA主催競技の最後を飾る佐々部杯ゴルフ選手権競技の第1日が愛知県・南山カントリークラブで終了した。今年一番の冷え込みとなった今朝、標高200メートルの南山CCでは7時10分のスタート時には1℃を記録。防寒ウェアが欠かせない寒さだったが、日差しに恵まれ、徐々に気温は上昇、ゴルフ日和となった。



CGA加盟倶楽部の今年のクラブチャンピオンが一堂に集まり、キング・オブ・クラブチャンピオンを決める佐々部杯。例年であれば、今年の中部アマと中部学生の優勝者、さらに、歴代の佐々部杯優勝者がシードとして参加するが、今大会は出場しておらず、真にクラブチャンピオンだけの勝負となっている。

選手は最年長71歳の小川竹男選手（涼仙CC）から最年少15歳の林伶夏選手（長良川CC）までと実に幅広く、しかも、林選手の他にもう一人、山本真生選手（東建多度GC）という2人の女子チャンピオンも出場した。

各年代の参加人数は次の通り。

70歳代 2人
60歳代 13人
50歳代 43人
40歳代 48人
30歳代 16人
20歳代 11人
10歳代 12人

また、このうち大学生は5人、高校生は9人。

風もなく穏やかに晴れた青空の下、難関コースで知られる南山CCの今日のスティンプは10.5、コンパクションは24、コースレイアウトの難しさに加えてグリーンでも手こずる選手が多く、スコアは伸びなかった。

首位に立ったのは、1オーバー73でホールアウトした北陸高3年の土肥龍星選手（フクイCC）と福井工大1年の織田信亮選手（杉ノ木台GC）の2人。1打差の74に、谷光治選手（ナガシマCC、45歳）、鈴木千貴選手（サン・ベルグラビアCC、星城高2年）、村上将選手（新陽CC、38歳）、佐野琢朗選手（セントクリークGC、愛工大3年）の4人が続いた。



また、4番ホール（206Y、パー3）で山下典佑選手（金沢CC）がホールインワンを達成した。

第1日の結果、85ストロークまでの102人が明日の決勝ラウンドに進出する。



<インタビュー>

首位 1オーバー73

土肥（どひ）龍星選手（フクイCC・北陸高3年） 73=37、36



アウトからスタート。3バーディ4ボギーでホールアウトした。「今日のバーディはショットで取ったもの。アイアンが良かったです。グリーンは難しかった。ラインが違った」と振り返った土肥選手は、今回が佐々部杯初出場。首位に立ち、少し戸惑っているようにも見えた。ゴルフは小学生の頃から始め、現在は福井県の北陸高3年、来春は金沢学院大に進む。

織田信亮選手（杉ノ木台GC・福井工大1年） 73=34、39

「前半のインで1バーディ4ボギー。後半は16番Hでイーグルでした」と織田選手。「ショットがぶれて、パターも入らず。パーオンしてないですねえ。今日は悪いところが全部出た感じでした」。織田選手は今年北陸オープンベストアマ、先日開催された中部日本ゴルフマスターズで優勝し、来年の中日クラウンズの出場権を獲得している。杉ノ木台GCには昨年入会、佐々部杯は初めての出場だが、明日は実力発揮で初Vとなるか？！



谷光治選手（ナガシマCC、45歳） 74=37、37 3位タイ



4バーディ 4ボギー 1ダブルボギーだった。「ダブルボギーは18番H（400Y、パー4）で第1打をミス、3打目のアプローチが奥5メートル、そこから3パットでした。それでもバーディがそれなりに取れたので、明日はパーを拾いつつ、スコアメイクしていきたい。今年はミッドアマで失敗して全国に行きそびれたのが悔しい。最後の試合だから頑張りたいですね」。谷選手は10年連続10回目の佐々部杯出場。

鈴木千貴選手（サン・ベルグラビアCC、星城高2年） 74=37、37 3位タイ

インからスタート。11番、16番でバーディを奪ったが、13番で1メートルを外してボギー、続く14番では第2打をプッシュアウト、3パットもしてダブルボギーを叩いた。「ショットが安定しなかった。パラパラというか・・・」と首をかしげた鈴木選手。「明日はラッキーがあるといいなあ」。（写真右が鈴木選手。左は山本幸広選手）

山本幸広選手（名古屋グリーンCC） 75=39、36

「7、8、9番と連続ボギーでした。良くもなく悪くもなく、だったけど、連続は残念。アップダウンがあって大変でした。」



佐野琢朗選手（セントクリークGC、愛工大3年） 74=37、37 3位タイ



3番、4番、5番と3連続バーディを奪ったが、9番では奥から3パットでダブルボギーを叩いた。「前半はパッティングが良くて入ったけど、後半は別人のように入らなくなった。途中で1オーバーになった時から、あわせに行ったのが原因だと思う」と佐野選手。試合後、アプローチの練習を念入りにし、明日に備えていた。佐々部杯は3回目の出場。

ホールインワン達成

山下典佑選手（金沢CC） 79=37、42

4番H（206Y、パー3）で放ったボールは一直線に飛び、スーッと転がって消えた。山下選手の4回目のエースの瞬間だ。「ショットは完璧でした。ホールインワ



ンは2010年に2回、2016年に1回、今回で4回目です。試合では初めてのことで嬉しい」。使用クラブはタイトリストの21度ユーティティ、ボールはスリクソン。39歳

最年長71歳と最年少15歳

小川竹男選手（涼仙CC） 79=41、38 25位タイ

林伶夏選手（長良川CC・岐阜県立岐阜商業高1年） 85=43、42 94位タイ



小川選手は「上がりの3ホールで1.5メートルくらいを連続ボギーにしてしまった。もったいなかった。明日に残れたから頑張るね」。小川選手は72歳とはいえ毎日1時間以上のトレーニングを欠かさない筋肉アスリート。飛距離も十分。日本グランドシニアでは7位タイで来年のシードを獲得したばかり。

初めてのクラチャンになり出場した林選手は「パットが入らなかった。アプローチで寄っても、距離感はよかったけど入

らず。7000ヤードはやっぱ長いです。でも明日はもう少しいい内容にしたい」。高校にはゴルフ部はないが、「自転車で通学できるからいい。体力アップにも役立つ」とか。

山本真生選手（東建多度GC・愛大1年） 90=46、44 130位タイ

今大会、2人の女子選手の一人、山本選手は名古屋女子高校からこの春、愛大へ。175センチの長身、飛距離250ヤードを生かし、大学リーグではすでに成績を残しているが、今日はOBをはじめショットの乱れが目立った。思うようにゴルフを展開することができず、涙の予選敗退となった。





[»List](#) [»競技情報Top](#)

Copyright(C)2012 CGA All Right Reserved. 無断複製転載を禁ず

もっと多くの方々にゴルフの本当の楽しさを伝えたい、それが私達の願いです。

中部ゴルフ連盟

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-26-25 メイフィス名駅ビル5階502号室 TEL 052-586-1345

[個人情報保護](#)